



マナウス日本人学校 学校便り

マナウス

2014年4月11日 第15号

学校教育目標

- ・自ら進んで学びとる子ども (知)
- ・礼儀正しく思いやりのある子ども (徳)
- ・心と体を鍛える子ども (体)

信頼と安全・安心な学校づくりを目指して

マナウス日本人学校長 片倉 徳生

私自身2年目の年を迎えました。1年目の反省を受けて、より一層子どもたちのために生きる力の育成、並びに思い出に残るマナウス日本人学校になるように微力ではありますが、全力を尽くしてまいり所存でございます。昨年度同様、これから保護者やマナウス日本文化振興会の皆様には学校運営に関わりまして大変お世話になります。学校運営へのご理解とご協力・ご支援の程、お願い申し上げます。

さて、本日、ご多用の中、在マナウス日本国総領事館 領事 桜井 憲二 様はじめ、多くのご来賓のご臨席を賜り、平成26年度入学式を挙行できましたことを大変うれしく思います。さらに、今年度は入学児童生徒数10名、在籍児童生徒数35名となっており、昨年以上に賑わいのあるマナウス日本人学校になるものと期待しています。

ところで、今年度の学校経営では昨年度と引き続き『自ら進んで 学びとる子ども (知育)』を重点目標に掲げ、児童生徒一人一人に帰国後も困らない確かな学力を確実に身につけさせたいと考えております。そして、「重点目標を支える目標」として『心と体を鍛える子ども (体育)』に取り組みます。心(やる気)と体(体力)は、学力を支える重要な要素です。とりわけ、体力を向上させることにより、最後までやり遂げることができる粘り強さ、自信へと結びつきます。この学力と体力を車の両輪と考え、この一年間学校経営を推進していきます。もちろん、そのためには、安全・安心な教育環境づくりが欠かせません。総領事館やマナウス日本文化振興会などと連携を図りながら、児童生徒の安全対策に全力を尽くします。特に、今年はサッカーのワールドカップや国政選挙が行われます。その対応と下記の目指す学校像などの学校経営につきましては、今月末の参観日にて説明させていただきます。

〈目指す学校像〉

- 子どもたちにとって、学ぶ楽しさを実感できる学校
 - ・子どもが主体的に考え行動し、生き生きと活気に満ちた学校
 - ・子どもが進んで体を動かし、体力づくりを積極的に励む学校
- 保護者、振興会にとって安心と信頼のできる学校
 - ・信頼され安心して子どもを預けられる学校
 - ・教師の熱意と誠意が感じられる学校
- 職員にとって、やりがいのある学校
 - ・協働意欲があり、職員集団としてまとまりのある学校
 - ・強い情熱を持ち、教師相互が絶えず切磋琢磨し合える学校



新派遣教員の着任について

文部科学省から連絡があり諸事情により新派遣者教員のビザの取得が遅れ、赴任日時が延期となりました。それに伴い、着任式・始業式・入学式が行われる11日(金)には間に合わない状況が発生いたしました。子どもたちには担任が不在の中で入学式を迎えることになり、子どもたち、並びに保護者の皆様には多大なるご迷惑をおかけしたことをお詫び申し上げます。新派遣教員は15日(火)に着任いたします。それまで2・3年生については 教諭が、中学部は片倉校長が担任代わりとしてサポートし、学校全体として授業や学校行事などを対応してまいります。着任まで、保護者の皆様にはご心配をおかけいたしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

【新派遣教員】

- 教諭 (シニア派遣)
- 教諭 (兵庫県教育委員会より派遣)